

エチオピア月報(2015年8月)

主な出来事

【内政】

- 13日:国連人道問題調整事務所(OCHA)は、干ばつにより、エチオピア国内で450万人が食糧援助を必要としていると発表。
- 31日:第10回EPRDF党大会(於:メケレ)において、ハイレマリアム・エチオピア首相がEPRDF党首に、デメケ副首相が副党首に再選。

【外政】

- 11日:エチオピア及びケニアの間で合同軍事会議が開催され、地域平和・安全保障のための二国間協力をいっそう強化することに合意。
- 31日~9月1日:国連PKOに関するアフリカ地域会合がアディス・アベバにて開催され、アフリカ連合PKO部隊の能力強化につき議論がなされた。

【経済】

- 日時不明:2014/2015 年度末時点で、27%政策によって中央銀行(NBE)が市中銀行から集めた中央銀行券(紙幣)の額は、360億ETBに到達。
- 日時不明:政府は、旅客機乗客による農産品及び工業製品の国外持出重量規制を開始。
- 日時不明:政府筋によれば、エチオピアの発電力を、再生可能エネルギーの活用によって5年以内に14,561メガワットに上げる。
- 日時不明:7月のインフレ率は、11.9%と二ヶ月連続して二桁台となるとともに、過去2年で最大。
- 日時不明:エチオピア航空及びエチオピア・テレコム の2014/2015年度の利益は、前年度に比べ大幅の増益。

【内政】

- ・ 与党EPRDFの評議会は、様々なセクターの過去5年間の成果を評価し、また第1期GTPから得た教訓につき評価した。(8日、ENA)
- ・ 12日、第1回Diaspora Festivalが首都アディス・アベバにて開催され、数千人のディアスポラが5日間のイベントに参加した。(13日、Nazret.com(ブログ))
- ・ 13日、国連人道問題調整事務所(OCHA)は、エチオピアにおける雨量が少ないために450万人が食糧援助を必要としていると発表した。(14日、ENA・the Guardian)
- ・ 31日、第10回EPRDF党大会がメケレにて開催され、ハイレマリアム・エチオピア首相がEP

RDF党首に、デメケ副首相が副党首として再選された。(31日、ENA)

【外政】

- ・ 1日、テドロス外相はサウジアラビアの投資グループである Muteqa Engineering Group と会談した。(3日、エチオピア外務省)
- ・ 2日、エチオピアにて第4回アフリカ-アラブ国会議員・ビジネスサミットが開催された。(3日、ENA)
- ・ 11日、エチオピア及びケニア間の合同軍事会議が開催され、地域の平和・安全保障を確保するため、二国間協力をいっそう強化することに合意した。(11日、ENA)
- ・ 11日、エチオピア、エジプト及びスーダンの3カ国の指導者は、エジプトのシャルム・エル・シェイクで協議を行い、3者間の課題について協議する常設フォーラムを設置することで合意した。(11日、ENA)
- ・ 18日、テドロス外相はディアスポラ代表団(FAMU industrial)及びドイツの投資家(CPB Group 及び Agupi Group)と会談した。(19日、エチオピア外務省)
- ・ 20日、エチオピア・スーダン間の第13回合同軍事技術委員会がアディス・アベバにて開催された。両国は、国境警備、軍隊のキャパシティ・ビルディング、訓練及び平和維持活動の分野で協力することに合意した。(20日、EBC)
- ・ 21日、エチオピアは、ルネサンスダムに関する第8回三者技術委員会(エジプト、エチオピア及びスーダン)を主催した。(24日、AllAfrica. com)
- ・ 21日、ダワノ外務省国務大臣はコカ・コーラ社のユーラシア・アフリカ地区担当である Nathan Kalumbu と会談した。(21日、エチオピア外務省)
- ・ 31日～1日、国連PKOに関するアフリカ地域会合がアディス・アベバにて開催され、アフリカ連合PKO部隊の能力強化につき議論がなされた。(9月1日、エチオピア外務省)
- ・ 30日、ダワノ外務省国務大臣は、Jürgen Stock 国際警察刑事機構 (INTERPOL) 事務局長と会談した。Stock 事務局長はエチオピアに事務所を開設する計画があると語った。(30日、外務省)

【経済】

1. 貿易・投資環境・ビジネス

- ・ (日時不明)政府は、旅客機乗客によるコーヒーなど農産品及び繊維製品など工業製品の国外持出重量規制を開始した。(2日、Fortune 紙)
- ・ 3日、南アの投資銀行である Rand Merchant 銀行は、エチオピアを外国直接投資(FDI)でのアフリカ・トップ 10 の1カ国に選定した。(6日、Daily Monitor 紙)

2. 運輸・情報通信・インフラ

- ・ 1日、アディス・アベバを訪問中のファン・リュー国際民間航空機関(ICAO)事務局長は、エチオピア民間航空局(ECAA)を訪れ、エチオピアの航空産業分野に対する支援を表明した。(22日、Reporter 紙)
- ・ 19日、ハイレマリアム首相は、第二次国家開発計画(GTP II)に関する記者会見の中で、中国によって建設された道路の品質の悪さに言及した。(22日、Reporter 紙)
- ・ (日時不明)エチオピア航空の 2014/2015 年度の 純利益(Net profit)は 35 億エチオピアン・ブル(以下、ETB)と、前年度より 3.5 億 ETB 増加した。(22日、Reporter 紙)
- ・ (日時不明)国営電気通信事業者 Ethio Telecom の 2014/2015 年度の純利益(Gross profit)は、前年度比で 76%増加の 215 億 ETB となった。また、過去5年間で携帯電話加入数は 250 万から 3,880 万件となった他、インターネット加入数及び固定電話加入数もそれぞれ 940 万件及び 83.7 万件増加した。(2日、Capital 紙)(20日、Ethiopian Herald 紙)
- ・ (日時不明)エチオピア道路公社(ERA)は、アダマ-アワシュ間高速道路の建設コストを、1キロメートル当り1億 ETB と算出した。なお、同高速道路は、昨年9月に開通したアディス・アベバ-アダマ間高速道路の延伸となる。(9日、Fortune 紙)

3. 水・エネルギー

- ・ (日時不明)政府筋によれば、エチオピアの電力を、水や地熱などの再生可能エネルギーの活用によって、1年以内に 14,561 メガワットに引上げることとしている。(11日、Daily Monitor 紙)
- ・ (日時不明)アディス・アベバ水道局は、7.59 億 ETB を投じて、移動式浄水装置を導入する。

4. 経済情勢・財政・その他

- ・ 18日、エチオピア政府が今年3月にまとめた人道支援ニーズ報告書のレビューによると、エルニーニョ現象の影響から、160万人及び2億3,000万米ドルの追加的人道支援のニーズが発生している。(25日、Daily Monitor 紙)
- ・ (日時不明)2014/2015年度末時点で、27%政策によって、中央銀行(NBE)が市中銀行から集めた中央銀行券(紙幣)の額は、360億ETBに達した。27%政策は、市中銀行が新規貸付の際に、新規貸付金額の27%を、中央銀行債の購入に充当させる指令である。(1日、Reporters 紙)
- ・ (日時不明)国連経済社会局(UNDESA)は、2015年から2050年の期間において、エチオピアが世界人口増加に寄与する5番目の国になることを見込んでいる。(2日、Capital 紙)
- ・ (日時不明)7月のインフレ率は、11.9%と二ヶ月連続して二桁台となるとともに、過去2年で最も高い数値となった。(6日、Daily Monitor 紙)(9日、Fortune 紙)

5. 他国の動向

[台湾]

- ・ (日時不明)靴メーカーGeorge Shoe社は、モジヨに1.2億米ドルを投じて、新規靴工場を建設する。同工場は5年以内に完全操業を開始し、1000名の雇用創出が見込まれる。(6日、Daily Monitor 紙)